

SSH または Telnet を使用した Cisco Business Switch CLI へのアクセス

目的

Cisco Business Managed Switchesは、コマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してリモートからアクセスし、設定することができます。CLIにアクセスすると、端末ベースのウィンドウでコマンドを入力できます。WebベースのユーティリティではなくCLIを使用してスイッチでterminalコマンドを使用して設定する場合は、この方法の方が簡単です。レイヤ3モードの有効化などの特定のタスクは、CLIからのみ実行できます。

スイッチのCLIにリモートアクセスするには、SSHまたはTelnetクライアントを使用する必要があります。スイッチにリモートでアクセスする前に、スイッチでTelnetおよびSSHサービスを有効にする必要もあります。

注：スイッチでTransmission Control Protocol (TCP ; 伝送制御プロトコル) とUser Datagram Protocol (UDP ; ユーザデータグラムプロトコル) を設定する方法については、[ここ](#)をクリックしてください。

この記事では、次のクライアントを使用して、SSHまたはTelnetを介してスイッチのCLIにアクセスする方法について説明します。

- PuTTY：標準のTelnetおよびSSHクライアント。[ここ](#)からインストーラをダウンロードして、Windowsコンピュータにインストールできます。
- ターミナル – すべてのMac OS Xコンピュータにプリインストールされているアプリケーション。シェルまたはコンソールとも呼ばれます。

重要：スイッチにSSHまたはTelnetで接続する前に、スイッチのIPアドレスを設定する必要があります。手順については[ここ](#)をクリックしてください。

適用可能なデバイス | [Software Version]

- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350-2X ([データシート](#)) | 3.0.0
- CBS350-4X ([データシート](#)) | 3.0.0

SSHを使用したスイッチのCLIへのアクセス

SSHセッションは、スイッチに設定されたアイドル時間が経過すると自動的に切断されます。SSHのデフォルトアイドルセッションタイムアウトは10分です。

スイッチへのSSH接続を確立するには、使用しているプラットフォームを選択します。

[PuTTYを使用するWindowsコンピュータ](#)

[端末を使用するMacコンピュータ](#)

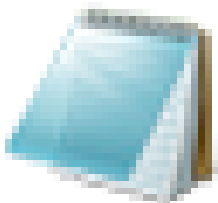
PuTTYを使用してSSH経由でCLIにアクセスする

注：イメージは、使用しているWindowsオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、Windows 7 Ultimateが使用され、PuTTYバージョンは0.63です。

ステップ 1：コンピュータでPuTTYクライアントを起動します。



PuTTY



Notepad

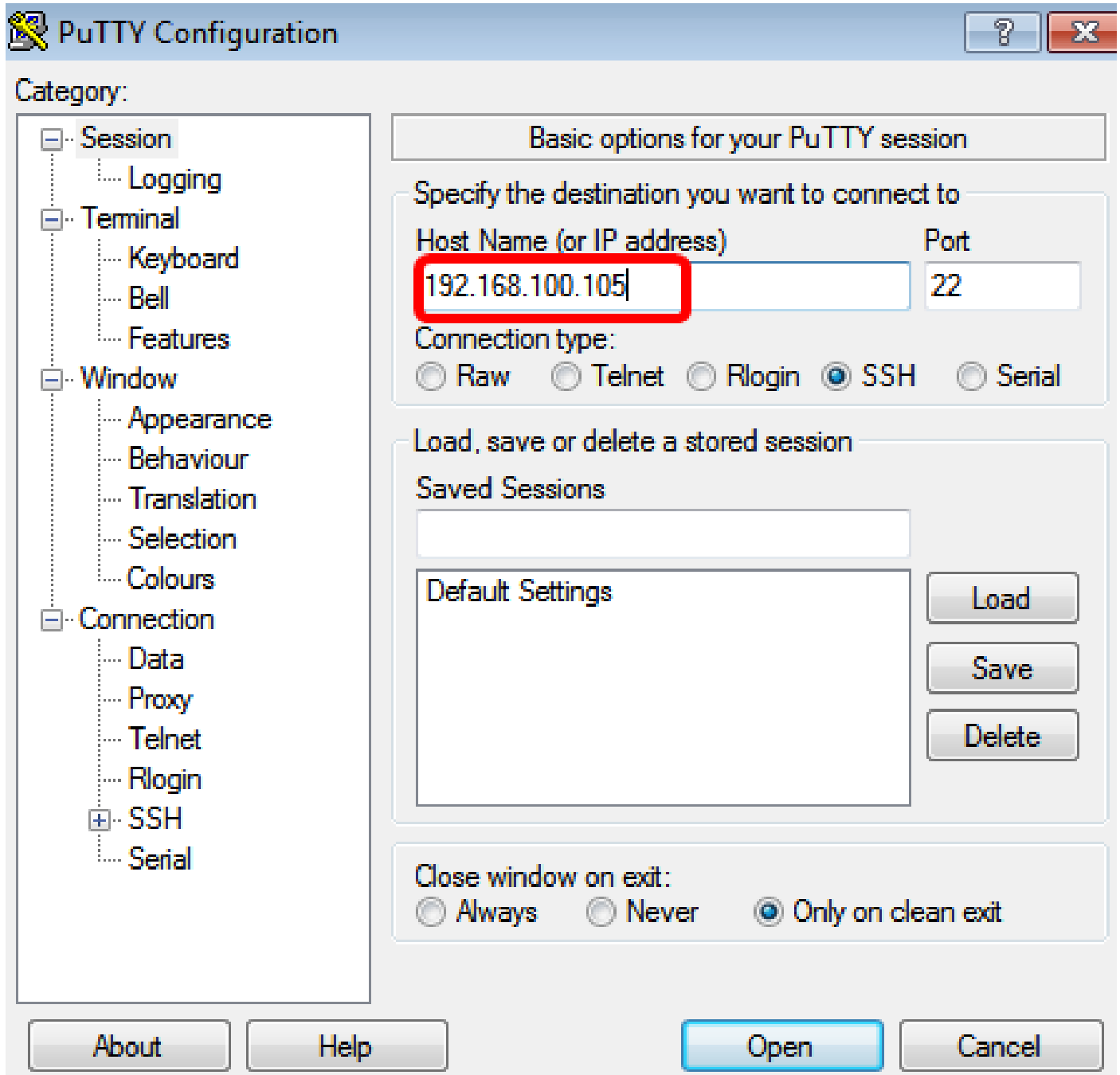


Command Prompt



FindIT2.0

ステップ 2 : Host Name (または IP address) フィールドに、リモートアクセスするスイッチの
ホスト名または IP アドレスを入力します。



注：この例では、IPアドレス192.168.100.105が使用されています。

ステップ 3：Portフィールドに、SSHセッションで使用するポート番号として22と入力します。

Basic options for your PuTTY session

Specify the destination you want to connect to

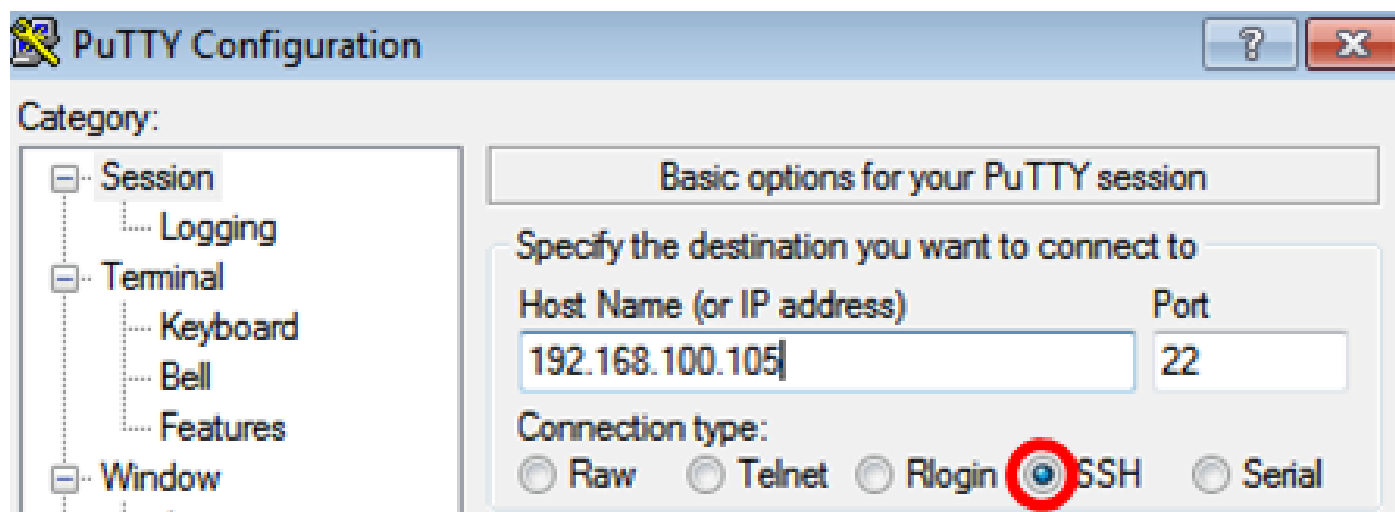
Host Name (or IP address)

192.168.100.105

Port

22

ステップ4： Connection type領域でSSHオプションボタンをクリックし、スイッチとの接続方法としてSSHを選択します。



ステップ5: (オプション) セッションを保存するには、 Saved Sessionsフィールドにセッション名を入力します。

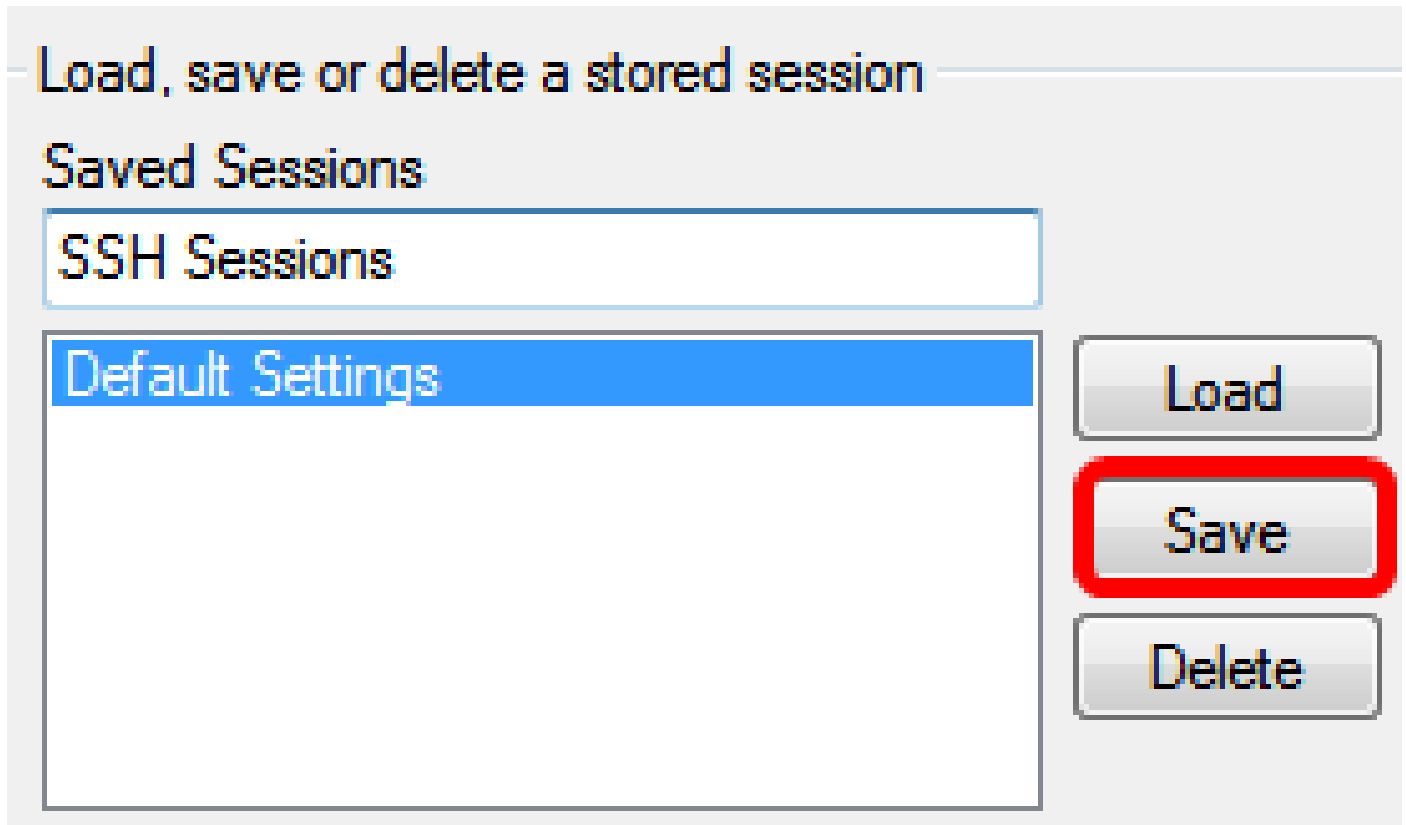
Load, save or delete a stored session

Saved Sessions

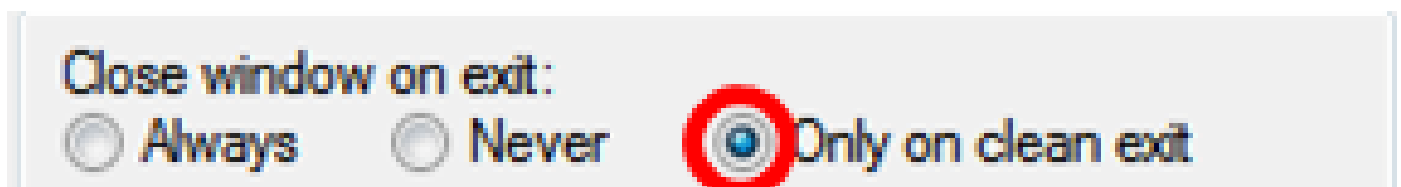
SSH Sessions

注：この例では、SSHセッションが使用されています。

ステップ6: (オプション) Saveをクリックして、セッションを保存します。

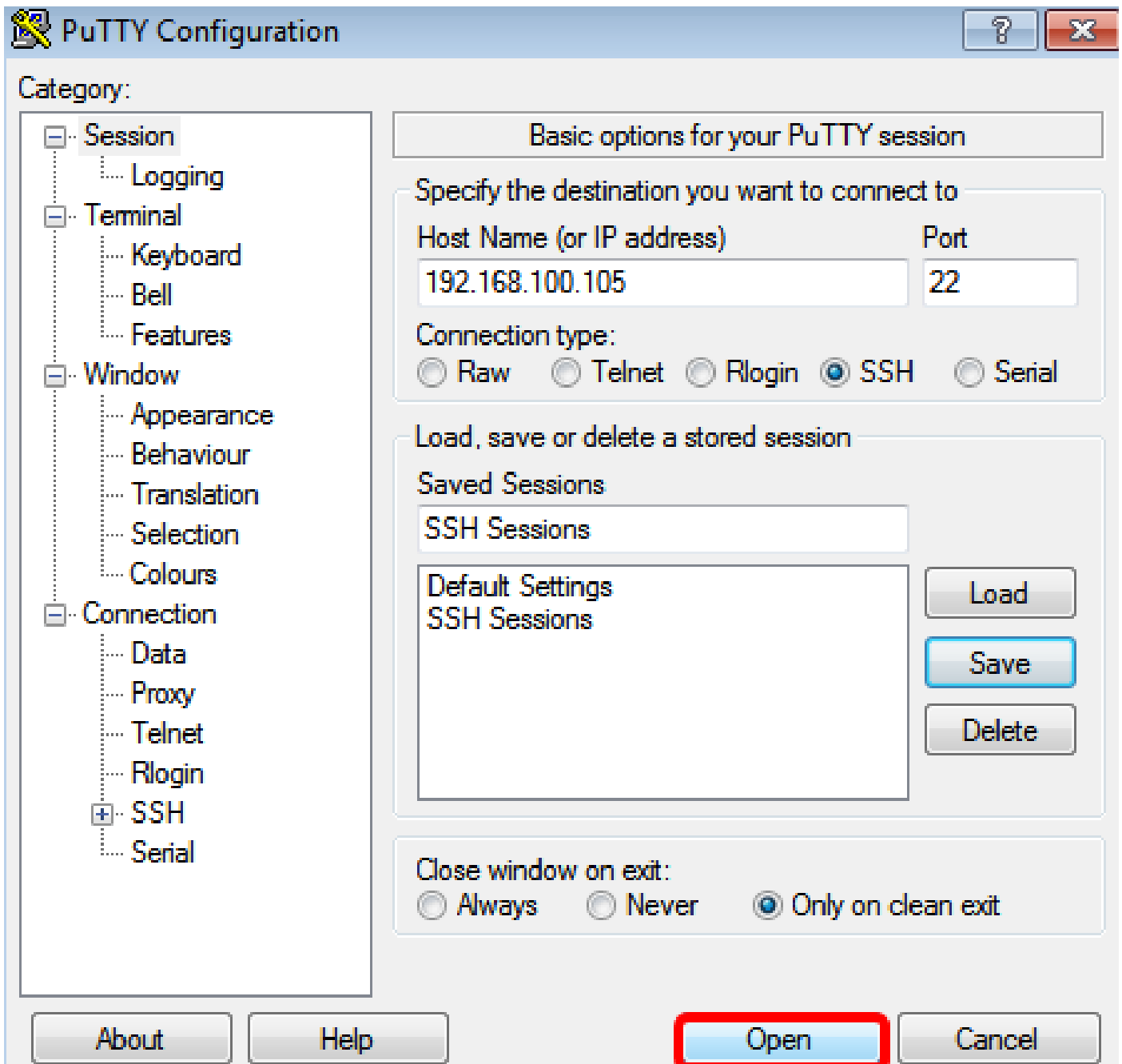


ステップ7: (オプション) Close window on exit領域で、オプションボタンをクリックして、終了時のSSHウィンドウの動作を選択します。



注：この例では、「Only on clean exit」が選択されています。

ステップ8：Openをクリックしてセッションを開始します。



ステップ 9 : スイッチへの接続にSSHを初めて使用する場合は、Security Breach Warningが表示されることがあります。この警告により、スイッチを装って別のコンピュータに接続している可能性があることを知ることができます。ステップ4でHost Nameフィールドに正しいIPアドレスを入力したことを確認できたら、YesをクリックしてRivest Shamir Adleman 2(RSA2)キーを更新し、新しいスイッチを含めます。



The server's host key is not cached in the registry. You have no guarantee that the server is the computer you think it is.

The server's rsa2 key fingerprint is:

ssh-rsa 1024 6f:7d:af:33:11:8c:b1:8b:15:3f:b1:ed:45:b9:46:63

If you trust this host, hit Yes to add the key to PuTTY's cache and carry on connecting.

If you want to carry on connecting just once, without adding the key to the cache, hit No.

If you do not trust this host, hit Cancel to abandon the connection.

ステップ 10 : login as、User Name、およびPasswordの各フィールドに、スイッチのユーザ名とパスワードを適宜入力します。


```
192.168.100.105 - PuTTY
login as: cisco

User Name:cisco
Password:*****

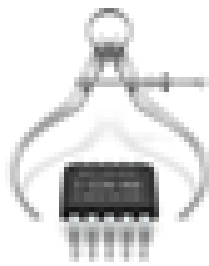
SG350X#
```

これで、PuTTYを使用してSSH経由でスイッチのCLIにリモートアクセスできるはずです。

ターミナルを使用したSSHによるCLIへのアクセス

注：イメージは、使用しているMacコンピュータのオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、macOS Sierraが使用され、ターミナルバージョンは2.7.1です。

ステップ 1：Applications > Utilitiesの順に選択し、Terminal.appアプリケーションを起動します。



System Information.app



Terminal.app



VoiceOver Utility.app

ステップ 2 : スイッチのCLIにアクセスするには、sshコマンドを入力してからIPアドレスを入力します。

```
Cisco: ~Cisco$ ssh [ip-address]
```

```
Cisco — ssh 192.168.100.105 — 81x24
Last login: Thu Jun 15 11:10:09 on ttys001
Cisco:~ Cisco$ ssh 192.168.100.105
The authenticity of host '192.168.100.105 (192.168.100.105)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:Uhbwk5NQ7f/LOIJnH/PaX3/UuYSy8B6zawW5c7jkm1Y.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?
```

注 : この例では、192.168.100.105です。

ステップ 3 : 接続を続行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、Yesと入力します。

```
Cisco — ssh 192.168.100.105 — 83x24
Last login: Thu Jun 15 11:10:09 on ttys001
Cisco:~ Cisco$ ssh 192.168.100.105
The authenticity of host '192.168.100.105 (192.168.100.105)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:Uhbwk5NQ7f/LOIJnH/PaX3/UuYSy8B6zawW5c7jkm1Y.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
```

ステップ 4 : スイッチのユーザ名とパスワードをUser NameフィールドとPasswordフィールドに適宜入力します。

これで、ターミナルを使用してSSH経由でスイッチのCLIにリモートアクセスできるはずです。

Telnetを使用したスイッチのCLIへのアクセス

スイッチに設定されたアイドル時間が経過すると、Telnetセッションは自動的に切断されます。Telnetのデフォルトのアイドルセッションタイムアウトは10分です。

スイッチへのTelnet接続を確立するには、使用しているプラットフォームを選択します。

[PuTTYを使用するWindowsコンピュータ](#)

[端末を使用するMacコンピュータ](#)

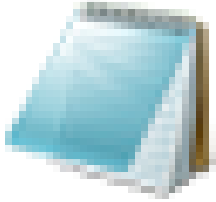
PuTTYを使用したTelnet経由でのCLIへのアクセス

注 : イメージは、使用しているWindowsオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、Windows 7 Ultimateが使用され、PuTTYバージョンは0.63です。

ステップ 1 : コンピュータでPuTTYクライアントを起動します。



PuTTY



Notepad

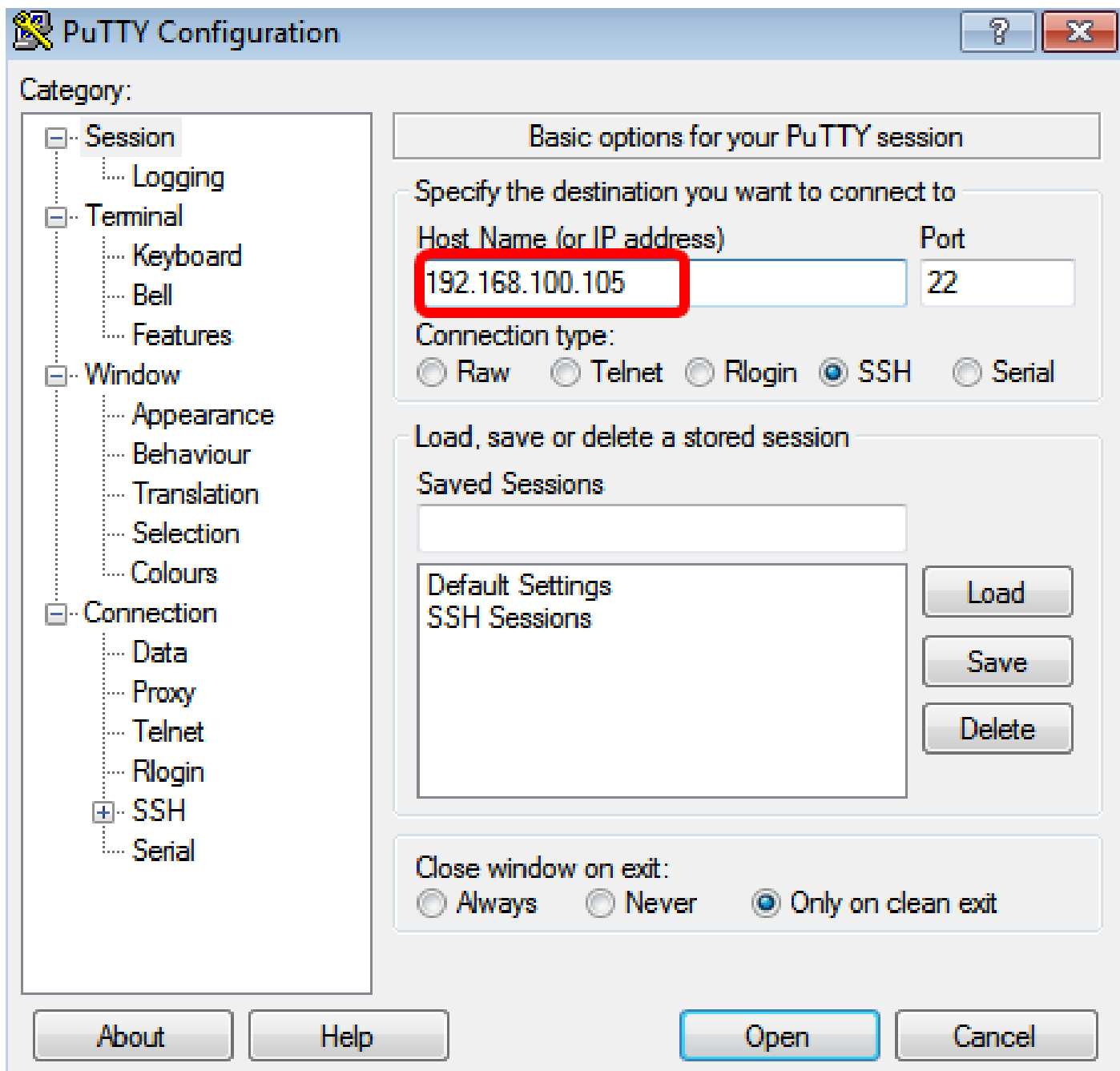


Command Prompt



FindIT2.0

ステップ 2 : Host Name (またはIP address) フィールドに、リモートアクセスするスイッチの
ホスト名またはIPアドレスを入力します。



注：この例では、192.168.100.105が使用されています。

ステップ 3：Portフィールドに、Telnetセッションに使用するポート番号として23と入力します。

Basic options for your PuTTY session

Specify the destination you want to connect to

Host Name (or IP address)

192.168.100.105

Port

23

ステップ4: Connection type領域でTelnetオプションボタンをクリックし、スイッチとの接続方法としてTelnetを選択します。

Basic options for your PuTTY session

Specify the destination you want to connect to

Host Name (or IP address)

192.168.100.105

Port

23

Connection type:



Raw



Telnet



Rlogin



SSH



Serial

ステップ5: (オプション) セッションを保存するには、Saved Sessionsフィールドにセッション名を入力します。

Load, save or delete a stored session

Saved Sessions

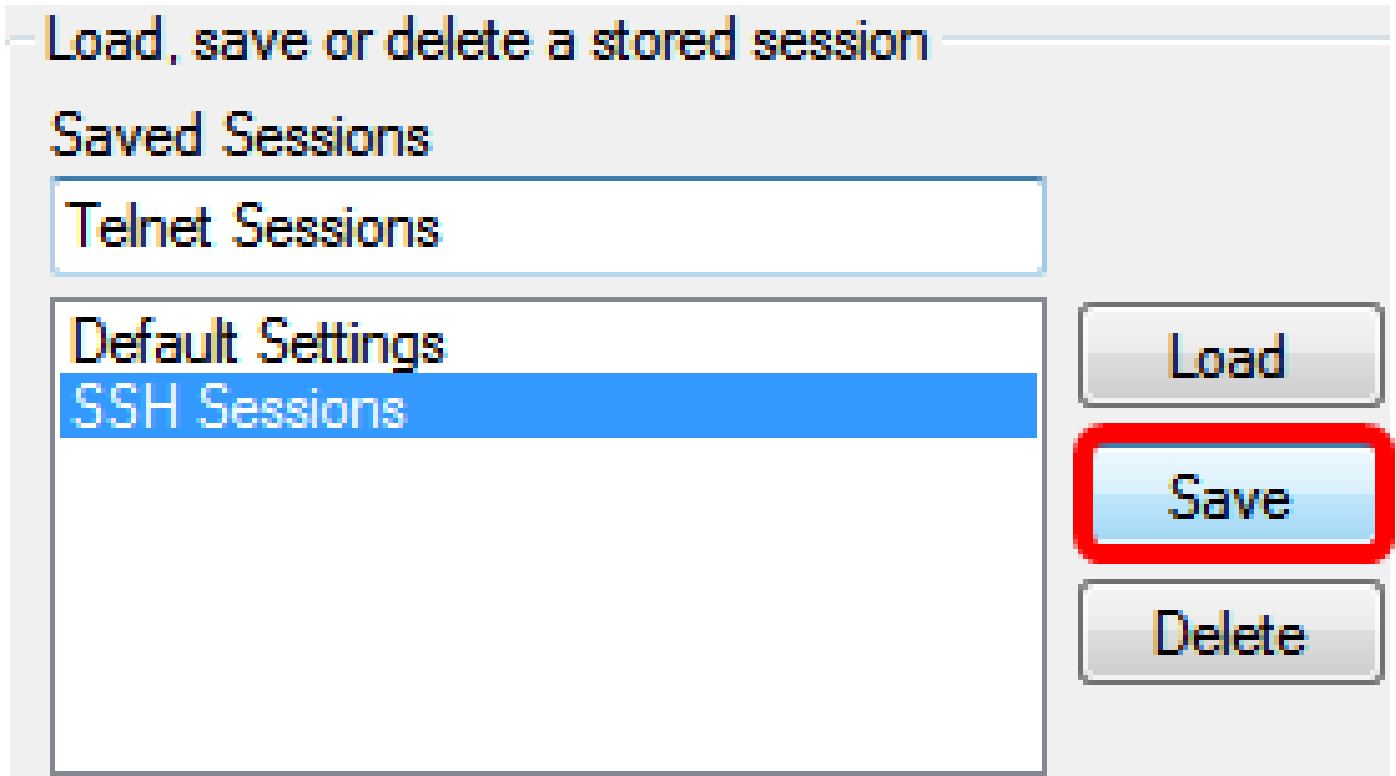
Telnet Sessions

Default Settings

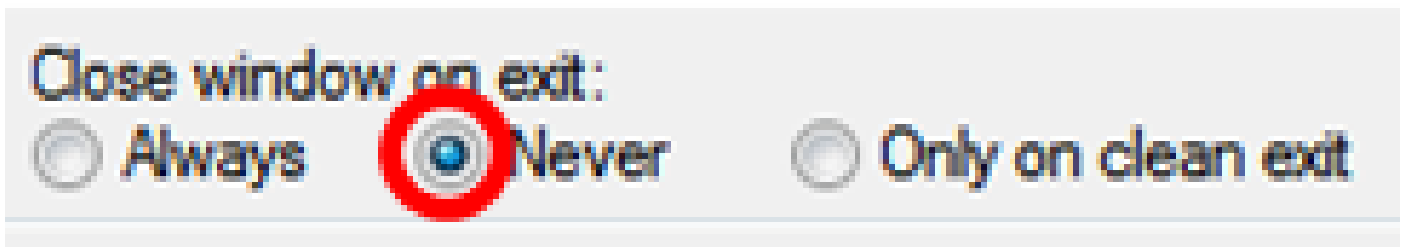
SSH Sessions

注：この例では、Telnetセッションが使用されます。

ステップ6: (オプション) Saveをクリックして、セッションを保存します。

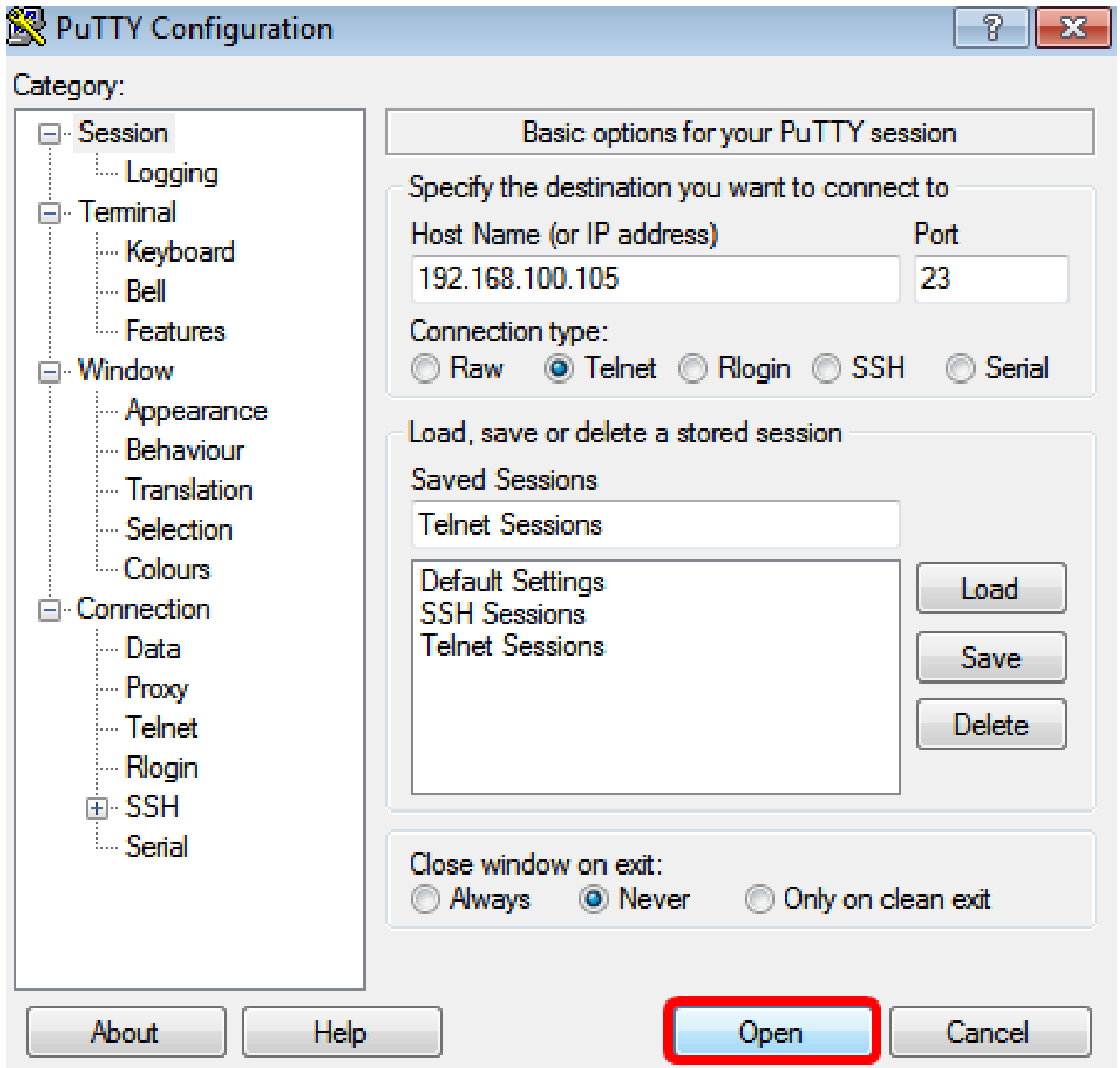


手順 7 : (オプション) 終了時のCloseウィンドウ領域で、オプションボタンをクリックして、終了時のSSHウィンドウの動作を選択します。

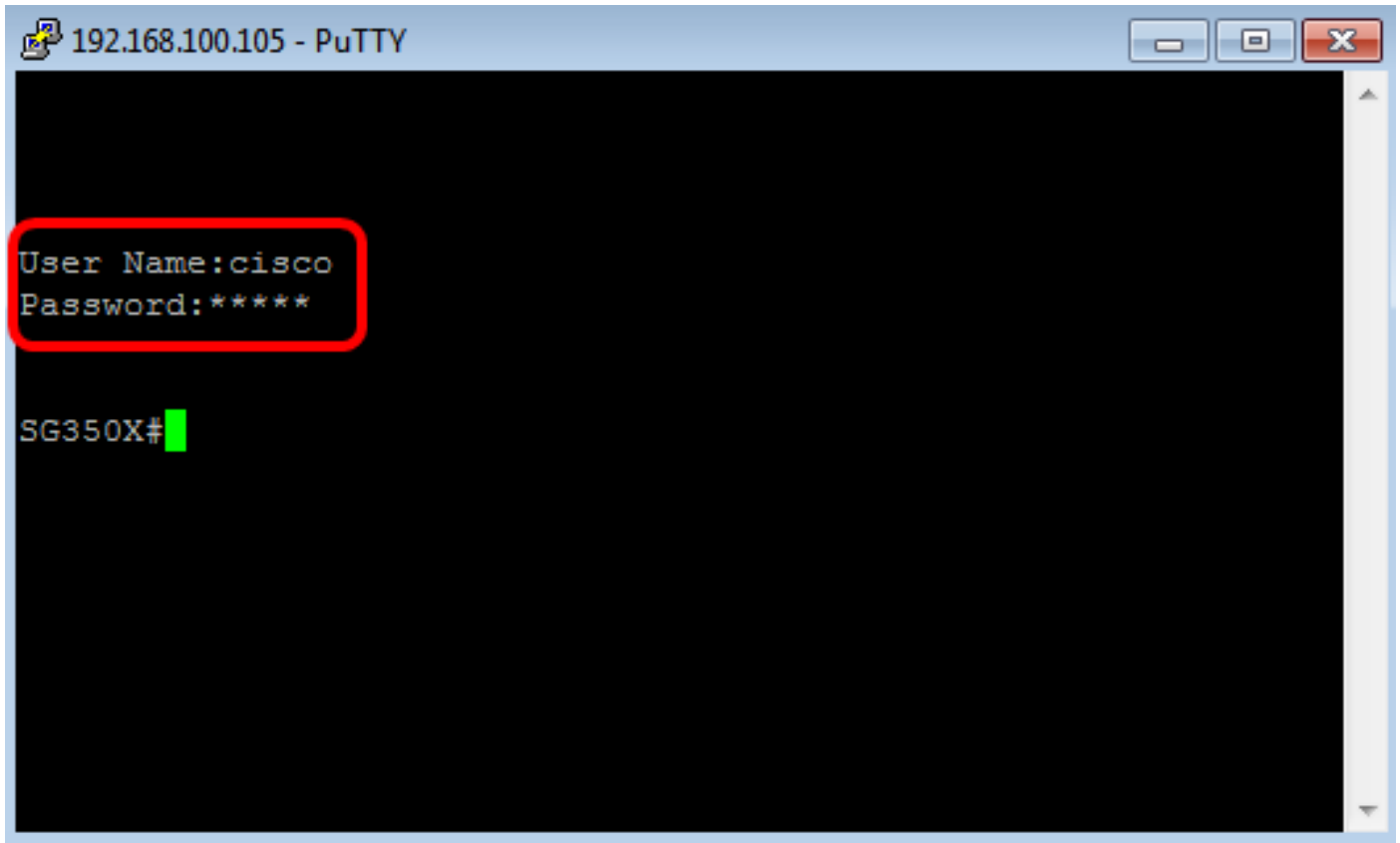


注 : この例では、「Never」が選択されています。

ステップ 8 : Openをクリックしてセッションを開始します。



ステップ 9 : スイッチのユーザ名とパスワードをログイン名、ユーザ名、およびパスワードのフィールドに適宜入力します。



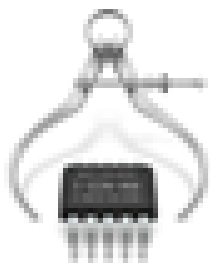
```
192.168.100.105 - PuTTY
User Name:cisco
Password:*****
SG350X#
```

これで、PuTTYを使用してTelnet経由でスイッチのCLIに正常にリモートアクセスできるはずです。

ターミナルを使用してTelnet経由でCLIにアクセスする

注：イメージは、使用しているMacコンピュータのオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、macOS Sierraが使用され、ターミナルバージョンは2.7.1です。

ステップ 1：Applications > Utilitiesの順に選択し、Terminal.appアプリケーションを起動します。



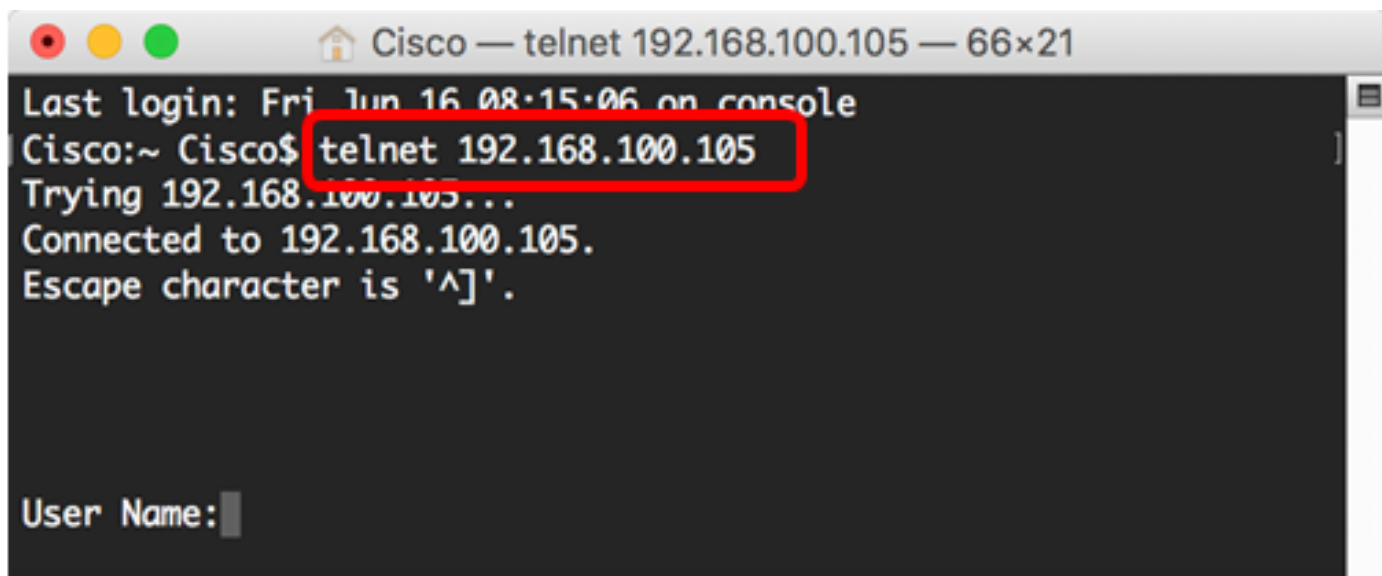
System
Information.app



VoiceOver
Utility.app

ステップ 2 : telnetコマンドを入力し、次にIPアドレスを入力して、スイッチのCLIにアクセスします。

```
Cisco: ~Cisco$ telnet [ip-address]
```



```
Cisco — telnet 192.168.100.105 — 66x21
Last login: Fri Jun 16 08:15:06 on console
Cisco:~ Cisco$ telnet 192.168.100.105
Trying 192.168.100.105...
Connected to 192.168.100.105.
Escape character is '^]'.

User Name: █
```

注 : この例では、192.168.100.105です。

ステップ 3 : スwitchのユーザ名とパスワードをUser NameフィールドとPasswordフィールドに適宜入力します。

これで、ターミナルを使用してTelnet経由でSwitchのCLIに正常にリモートアクセスできるはず

です。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。